

第36回 緑化推進運営協議会

議 案 書

と き 平成23年2月22日 (火)

と ころ アネックス パル法円坂
5号室 (3階)



財団法人 大阪みどりのトラスト協会

目 次

1. 報告案件
平成22年度「緑の募金」収支決算見込みについて.

2. 第1号議案
平成23年度「緑の募金」事業計画(案)について.

3. 第2号議案
平成23年度「緑の募金」収支予算(案)について

4. その他

報告案件

平成22年度「緑の募金」収支決算(見込み)について (案)

(単位：千円)

科 目	平成22年度 予算額	平成22年度 決算見込み額	差異	備 考
I 収入の部				
1. 緑の募金収入	29,000	33,000	4,000	
2. 助成金等収入	550	460	△ 90	国緑 整備交付金 450千円 森の名手名人 10千円
3. 運用財産利息収入	19	10	△ 9	
当期収入合計 (A)	29,569	33,470	3,901	
前期繰越収支差額 (B)	11,236	11,236	0	
収入合計 (C) = (A) + (B)	40,805	44,706	3,901	
II 支出の部				
1. 緑の募金運動推進普及費	5,200	5,050	△ 150	
普及資材整備費	4,000	3,850	△ 150	募金箱、バッジの製作、緑 の羽根、ポスター等の資材 購入等
募金活動費	1,200	1,200	0	市町村等説明会、ポス ター・羽根等資材発送
2. 緑化推進・森林の整備事業費	10,700	17,181	6,481	
みどりづくりの輪推進費	5,000	3,061	△ 1,939	実施団体数 11団体 ・市街地緑化 1団体 ・ビオトープ整備 4団体 ・森林整備 6団体
里山づくり推進費	2,100	3,520	1,420	堀河の森、歌垣、 島本の森、車作、 花屏風、堺第7-3区 他
緑の少年団育成事業費	600	600	0	
「学校に森林と木の香りを」整備事業	3,000	10,000	7,000	使途指定寄附 8百万円

3. 緑化活動・普及啓発費	14,000	10,250	△ 3,750	
緑化活動交付金	9,000	6,500	△ 2,500	募金団体による地域緑化の推進
トラスト感謝祭	1,200	200	△ 1,000	・協会主催（海遊館で実施） ・緑化ポスター入選者表彰 ・記念植樹はせず
ポスターコンクール等事業費	600	450	△ 150	応募点数 233点 入賞 22点 (内1点国土緑化推進機構主催全国コンクール入選) 佳作 42点
中央交付金	1,400	1,400	0	国土緑化推進機構への中央交付金
普及啓発費	1,800	1,700	△ 100	宣伝・イベント参加費 印刷用機材
4. 推進事務費	4,900	4,900	0	
当期支出合計 (D)	34,800	37,381	2,581	
当期収支差額 (A) - (D)	△ 5,231	△ 3,911	1,320	
次期繰越収支差額 (C) - (D)	6,005	7,325	1,320	

平成23年度「緑の募金」事業計画（案）

緑化の推進や森林の整備は、生活環境の保全や災害の防止、水資源の確保など府民の健康で文化的な生活を確保する上で欠く事のできない役割を果たしている。

平成23年（2011年）は、国連総会決議により定められた「国際森林年」である。そこでは、全てのタイプの森林の持続可能な開発を強化することについて、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべきとされている。今年度は「緑の募金」事業において、この理念を具体的に実施する手段のひとつとして、府民に対して積極的に展開する。

また、平成20年から始まった京都議定書の第1約束期間の4年目にあたり、府民の森林づくりへの関心が一層高まることが予想されることから「緑の募金でふせごう地球温暖化」をスローガンに募金運動を更に推進するとともに募金事業においても地球温暖化防止にかかる府民運動の推進に取り組む。



2011。国際森林年

1. 緑の募金運動の推進普及経費（予算5,200千円）

（1）募金キャンペーンの実施

募金集中取り組み期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、「緑の募金」の周知に努める。

① 募金集中取り組み期間

<春季> 平成23年3月1日から 5月31日

<秋季> 平成23年9月1日から 10月31日

② 街頭キャンペーン

<春季>

3月中旬 南海電鉄堺東駅前

4月上旬 阪急電鉄豊中駅前 ほか

<秋季>

9月上旬～中旬 南海なんばパークス ほか

③ 緑化関係行事等での取り組み

市町村、府の各種緑化行事等において、緑の募金のPRと募金活動を実施する。

実施場所等：行政機関等主催の緑化、環境、農林業イベント等

(2) 募金活動の推進

① 平成23年度においては、街頭募金、学校募金、職場募金、企業募金等を実施し、募金目標額を30,000千円とする。

この目標額を達成するため、具体的な行動計画を作成し、確実な達成に努める。

② 街頭募金にあたっては、ボーイスカウト、ガールスカウト、緑の少年団などの青少年団体、地域婦人団体などの協力により実施し、広く府民に募金への協力を呼びかける。

③ 学校募金にあたっては、市町村教育委員会、校長会や大阪私立中学校高等学校連合会等の協力を得ながら実施する。

④ 職場募金にあたっては、府内の行政機関等の職場に引き続き募金を依頼するとともに、企業の職域にも募金を依頼する。

⑤ 企業募金にあたっては、行政や経済団体の協力を得ながら企業への募金依頼を行う。

○ 業界団体や労働関係団体、ISO認定企業、信用金庫などに積極的に募金の依頼活動を行う。

○ CSR活動促進の一環として企業の業種や組織実態にあった募金方法を提案し、活動をサポートする。

⑥ 各団体や企業の社会貢献活動にかかる考え方が成熟していく中、使い道を指定する寄付も増加しつつある。

このため、緑の募金においても、使途指定寄付の要望に応じて行く。

第1号議案

(3) 募金運動協力団体

募 金 協 力 者	備 考
大阪市立各学校	大阪市内各小中高等学校、幼稚園
市町村立各学校(除、大阪市)	各市町村教育委員会
府立学校	府立高等学校長協会
私立学校	大阪私立中学校高等学校連合会
幼稚園、専修学校・各種学校	
ボーイスカウト各団	日本ボーイスカウト大阪連盟
ガールスカウト各団	(社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部
緑の少年団	
募 金 協 力 者	備 考
経済団体	関西経済連合会、商工会議所・商工会
女性団体	府・市地域協議会
企業・団体	ダイドードリンコ、大阪損害保険代理業協会、大阪商工信用金庫、大福信用金庫、日本ハム、関西スーパー等
農業関係団体	大阪府農業協同組合中央会、各農業協同組合、大阪府農業協同組合連合会、大阪府信用農業組合連合会、全国共済農業協同組合連合会大阪府本部
生活協同組合	大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合等
市町村緑化推進委員会等	
大阪府関係機関	各行政機関、大阪府警察本部等
その他	森林管理局、木材連合会、ボランティア団体

第1号議案

(4) 普及啓発資材の整備

緑の募金運動の円滑な推進を図るため、平成23年秋用及び平成24年春用の募金資材を整備する。

- ① 緑の羽根 : 緑の募金への協力、普及啓発のシンボルとするため緑の羽根を購入し、募金者に配布する。
- ② 緑化バッジ : 街頭募金や職場募金の比率が高い大阪府では、独自の緑化バッジを作成している。
平成23年秋用及び平成24年春用の2種類のバッジを作成配付する。

- ③ ポスター、チラシ等資材

緑化運動の推進と普及啓発の拡充を図るため、小中高等学校や公共施設等に募金を呼びかけるポスターの掲示を依頼する。

また、チラシや募金箱などの必要な資材を作成、協力団体等へ配付する。

(5) 募金成果の公表

募金の成果及び使途について大阪府公報に登載するとともに、募金啓発用チラシ、当協会の会報、ホームページにおいてわかりやすく掲載する。

2. 緑化推進・森林の整備事業費（予算 7,200 千円）

(1) みどりづくりの輪活動支援事業

市街地の緑化、森林の整備、自然環境の保全活動を実施するボランティア団体への助成を充実し、活動の活発化を促進、市街地の緑化の推進や良好な森林の保全を図るため以下の活動に助成する。

- ・市街地における緑化活動
- ・森林地域における植林や育林活動
- ・学校等における生きものの生息・生育空間に配慮した緑化及び森林等の保全活動

(2) 里山づくりの推進

里山の多様な自然環境を保全するとともに良好な里山景観をよみがえらせるため、トラスト協会の活動地で活動するボランティア団体を支援し、間伐、下刈り等の整備を進める。また、企業によるCSR活動の導入により活動の活性化を図るためPR活動を行う。

第1号議案

また、地球温暖化防止にかかる運動の一環とし、堺第7-3区において市民・NPO等の府民参加で実施されている「共生の森づくり」活動や生駒花屏風構想事業参画し、市街地における多様な生きものが生息、生育する場の創出に寄与する。

- ・ 大和葛城の森、(千早赤坂) 島本の森 (島本町)、
車作の森 (茨木市) 堀河の森 (泉南市) 等
- ・ 堺第7-3区「共生の森」、生駒花屏風

(3) 緑の少年団の育成

子供たちが緑や自然にふれあい、森林や緑化に関する意識が高められるよう、大阪府緑の少年団連盟に対して活動助成を行う。

(緑の少年団 10団体 594人)

(4) 「学校に森林と木の香りを」整備事業

教育施設において、森林の整備、木材の利用、緑の効用について理解を深めるとともに、木の香る快適な学習環境を普及するため、モデルとなる施設整備に対し助成する。

なお、本事業に必要な助成金を確保するため、企業等に寄付を呼びかけていく。

3. 緑化の活動と普及啓発費 (予算 11,710千円)

(1) 募金団体を通しての地域緑化の推進 (緑化事業等交付金)

募金運動に参加したボーイスカウト、ガールスカウト、緑の少年団等の団体や幼・小・中・高等学校の児童、生徒等により地域や学校の緑化を進めるため、当該団体の申請により交付する。

(2) 行政との連携

地球温暖化やヒートアイランド対策など大阪府や市町村が進める緑化施策と連携し、地域緑化の取り組みを推進するとともに、学校や家庭など地域における募金活動の充実に努める。

また、平成19年10月に国の地球温暖化対策推進本部において決定されたCO2森林吸収源対策を推進するための「美しい森林づくり推進国民運動」に参画する。

(3) トラスト感謝祭の実施

大阪府植樹祭が平成19年度で廃止されたことに伴い、春の募金集

第1号議案

中取り組み期間において、協会主催により「トラスト感謝祭」を開催している。ボランティア表彰、緑化運動ポスターコンクールなどの入賞者の表彰を行い、トラスト協会に多くのボランティアが参加し、活動の輪が一層広がり、活発化する契機とする。

(4) 国土緑化運動ポスターコンクール

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールを実施し、優秀作品をトラスト感謝祭で表彰する。

(5) 国土緑化推進機構を通じた緑化活動の推進

(社)国土緑化推進機構に対して緑の募金の3%相当額に500千円を加えた額中央交付金を交付し、同機構を通じて広域的な緑化の推進や森林整備に寄与する。

(6) 普及啓発活動の拡充

募金目標額の達成とより多くの府民のみなさんに緑の募金運動に参加してもらうため、積極的に広報活動を行う。

① ポスターの配布、掲示

府、市関係機関及び小中学校において緑の募金運動啓発ポスターの配布、掲示を依頼する。

② 報道機関への情報提供

募金キャンペーンの開始やトピックス、助成事業、事業成果などを積極的に報道機関に提供する。

③ 懸垂幕の掲示

「みどりの月間」(4月15日から5月14日まで)、「山に親しむ推進月間」(11月1日から11月30日まで)に大阪府庁建物に懸垂幕を掲示し、「緑の募金」啓発活動を行う。

4. 募金推進事務(予算額 6,400 千円)

募金運動を実施するための説明会の開催経費、振り込み手数料、非常勤賃金、事務所経費等の緑の募金事業推進に伴う事務的経費を支出する。

第2号議案

平成23年度「緑の募金」収支予算について（案）

（単位：千円）

科 目	平成23年度 予算額	平成22年度 予算額	差異	備 考
I 収入の部				
1. 緑の募金収入	30,000	29,000	1,000	
2. 助成金等収入	500	550	△ 50	
3. 運用財産利息収入	10	19	△ 9	
当期収入合計 (A)	30,510	29,569	941	
前期繰越収支差額 (B)	7,325	11,236	△ 3,911	
収入合計 (C) = (A) + (B)	37,835	40,805	△ 2,970	
II 支出の部				
1. 緑の募金運動推進普及費	5,200	5,200	0	
普及資材整備費	4,000	4,000	0	募金箱、バッジの製作、緑の羽根、ポスター等の資材購入等
募金活動費	1,200	1,200	0	市町村等説明会、ポスター・羽根等資材発送
2. 緑化推進・森林の整備事業費	7,200	10,700	△ 3,500	
みどりづくりの輪推進費	4,000	5,000	△ 1,000	
里山づくり推進費	1,600	2,100	△ 500	
緑の少年団育成事業費	600	600	0	府下10団 594名
「学校に森林と木の香りを」整備事業	1,000	3,000	△ 2,000	

3. 緑化活動・普及啓発費	11,710	14,000	△ 2,290	
緑化活動交付金	7,500	9,000	△ 1,500	
トラスト感謝祭	410	1,200	△ 790	
ポスターコンクール等事業費	600	600	0	
中央交付金	1,400	1,400	0	国土緑化推進機構への中央交付金
普及啓発費	1,800	1,800	0	宣伝・イベント参加費 印刷用機材
4. 推進事務費	6,400	4,900	1,500	事務所経費等負担分を 追加計上
当期支出合計 (D)	30,510	34,800	△ 4,290	
当期収支差額 (A) - (D)	0	△ 5,231	5,231	
次期繰越収支差額 (C) - (D)	7,325	6,005	1,320	